

2014年
9月



農業研修に出かける子どもたち！（カンボジア孤児院）

皆さまの御支援、いつもありがとうございます。

出産の為、一時帰国していましたがザンビア孤児院の桜子スタッフが、8月初旬、無事ザンビアへ帰国しました。日本滞在中では、報告会も行われ、御協力して下さった方々には、この紙面をお借りしまして御礼申し上げます。ザンビア孤児院も、また一つ新しい段階を迎えての働きが始まっていくこととなります。また、カンボジア孤児院からは、授業料値上げに伴う、運営費の増額のお願いがきています。確かに、働きが進もうとしていますが、それに伴い経済の必要も大きくなってきています。先日は、某ミュージシャンの方々から御協力していただけるお話があり、本当にありがたく思いました。私どもの働きが、少しでも多くの方々から知られ御賛同いただければ、それが子供たちのケアに直結しますので、これほど嬉しいことはありません。最後には、いつも皆さまへのお願いで終わってしまいますが、これからも御支援、サポートを是非よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きのため、皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。子ども達が通っているスクールでは、1年の学びが終了する前に毎年、運動会が行なわれています。ボーイズ&ガールズブリゲートによるマーチングからスタートし、競技は短距離走や中距離走、リレー、ボール投げ、サッカーなどが行なわれ、私達も応援に力が入りました。楽しい運動会を終えて8月から新学期まで休みに入りました。大きな男の子たちは休



運動会でバシッと決まっている子どもたち！

みの期間に、農業研修に参加しました。今回は、中間層から4名を加えて9名が1週間の予定で参加となります。良き体験、学びのときとなるようにと願っています。新学期（10月）から子どもたちが進級すると共に、授業料値上げに関する連絡事項が、各校より届きました。子ども達が継続して学んで行く事が出来ますよう、授業料のためにさらにご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

礎の石フィリピン孤児院への皆様のご支援を心から感謝致します。

各地の子どもたち一人一人に、学用品、靴、かばん、制服、お菓子を無事に届けることが出来ましたことを皆様に感謝致します。皆様からいただいた物はひとつひとつ大切に貴重な物です。どんなに子どもたちが喜んでいて知っていただければと思います。今月は就学支援を受けている子どもの内、2名が通っている学校の設立記念日のイベントがあります。この学校では子どもたちの訓練・指導



プレゼントをもらってご機嫌な子どもたち！

の手引として聖書を教育の中心に置いています。8月19日～22日に定期試験が行われます。8月26日～29日にはフィリピンの言葉や文化を大切にするイベントが行われます。皆様のご支援に、今一度、感謝申し上げます。

どうぞこれからも、礎の石フィリピン孤児院へのご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ポワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。8月5日に、家族4人で、元気にザンビアに到着致しました。息子たちは、英語を全く話せなくなりましたが、久しぶりに会う父親や、スタッフたちに囲まれて、すぐに溶け込むことができましたようです。ザンビアの清々しい気候は、日本の蒸し暑さに慣れた身には、癒されるような感覚さえ覚えます。今回のザンビア帰国には、日本の同郷の男性2名が同行して、ザンビアで1週間を過ごしました。ザンビア人の礼儀正しさや親しみやすさに加えて、時間を気にしなくていいライフスタイル、そして、何より電話がかかってこない！日々に、日頃のストレスから解放されて、非常にリラックスした時間を楽しめたようでした。お二人は孤児院も訪問してくださって、子どもたちへのおもちゃやサッカーボールをプレゼントして下さいました。訪問者を迎えて、子どもたちの目はキラキラ輝き、その日一日、大いに盛り上がったようでした。これからも、ますます、多くの方々に、是非ザンビアを訪問して孤児院の様子を見ていただけたらと願っています。



子どもたちはプレゼントを渡されて大喜び！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご協力とご支援をいつもありがとうございます。アラサトゥーバはいま乾期です。現在、約一週間に一度のペースでグアララペスを訪問しています。先日は、以前孤児院のワーカーだったご夫妻の家を訪問しました。彼らはその後も以前孤児院で預かっていた子供たちと交流



があるそうです。彼は、自分が過ごした孤児院での日々は、とても貴重な時だったと話していました。短い期間でしたが、彼にとって良い思い出となったということは私にとっても、うれしいことです。ご夫妻は後日、アラサトゥーバの私の自宅をも訪問して下さいました。

以前の孤児院スタッフ、タケヒロさんご夫妻！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>